

松本市地域づくり推進交付金実績報告書

令和7年3月31日

(あて先)松本市長

(申請者) 四賀地区地域づくり協議会

1 交付決定額

I	金 550,000円
---	------------

2 本年度実績の報告

(1) 本年度の交付金事業の報告

① 事業名： 四賀地区地域づくり協議会活動事業(協議会運営)			
実 施 主 体	四賀地区地域づくり協議会		
実施日(期間)	通年		
実 施 場 所	四賀地区		
事 業 概 要	協議会運営に係る事務、具体的な事業については、2部会で事業計画を立て地域づくりを推進する。		
地 域 づ くり の 成 果 ・ 効 果	運営に係る事務を統一し、健全な予算執行が図られた。		
課 題	郵送料の値上がり等を考慮し、連絡ツールや会議携帯の電子化が課題		
決 算 額	a+b+c	財 源 内 訳	
		a	b
	101,328円	100,000円	984円

a : 本年度の交付金額のうち、この事業に充当した額

b : 前年度の交付金の繰越額のうち、この事業に充当した額

c : この事業に充当したその他の財源の額

② 事業名: 四賀地区地域づくり協議会活動事業(地域振興部会)			
実施主体	四賀地区地域づくり協議会		
実施日(期間)	通年		
実施場所	四賀地区		
事業概要	各専門リーダー等が実施する取組みへの協力 各イベント行事への参加・協力 地域住民参加型ワークショップの開催 情報発信(ホームページ・広報誌、看板等) 空き家対策の推進(空き家バンクの活用・充実)		

地 域 づ くり の 成 果 ・ 効 果	各専門リーダーが問題意識を共有し、地域に必要な事業を効率的に展開した。事業を通して住民同志の交流や交流人口の拡大、地域の活性化が図られた。また、移住対策を通じて人口の増加、交流人口の拡大が図られた。			
課 題	各リーダーの企画事業の展開には大きな予算が必要な部分もある。また、各リーダー相互の連携や企画の整合性を図る必要性があり、今後重点プロジェクト補助金等の活用が急務となっている。			
決 算 額	a+b+c	財 源 内 訳		
		a	b	c
	677,175円	350,000円	162,175円	165,000円

③ 事業名： 四賀地区地域づくり協議会事業(福祉健康部会)				
実 施 主 体	四賀地区地域づくり協議会			
実施日(期間)	通年			
実 施 場 所	四賀地区			
事 業 概 要	各専門リーダー等が実施する取組みへの協力 認知症啓発事業(講演会・ワークショップ、広報誌発行) 世代間交流事業(放課後児童クラブ利用者と各団体との交流) 食等に関する健康講座の開催			
地 域 づ くり の 成 果 ・ 効 果	認知症についての正しい知識を習得し、理解を深め、情報発信する事で、地域全体での支えあい図られた。 世代間での交流を通じ、地域の課題認識の共有や少子高齢化に対する地区内のサポート体制が強化された。			
課 題	世代間の交流については一定の効果が得られたため、今後は認知症啓発事業に注力する事が望ましいが、地域人材育成と両輪で進めていくための方策についてが課題となっている。			
決 算 額	a+b+c	財 源 内 訳		
		a	b	c
	107,151円	100,000円	7,151円	0円

※ 事業が4以上ある場合は、枠を増やして記載すること。

決 算 額 (計) (①+②+③)	A+B+C	財 源 内 訳		
		A	B	C
	885,654円	550,000円	170,310円	165,344円

A：各事業のaの合計額

B：各事業のbの合計額

C：各事業のcの合計額

(2) 本年度の積立実績の報告

事業名：				
積立目的				
積立期間	年度から 年度まで (本年度 年目)			
積立ての 目標金額	円			
積立実績	区分		積立額	積立事業への 積立金充当額
	前年度	1年目	円	円
				差引累計 円

	までの 積立経過	2年目	円	円	円			
		3年目	円	円	円			
		4年目	円	円	円			
		5年目	円	円	円			
	本年度の積立実績		D	円	E	円	F	円
	合 計 額							
本年度積立金を充当して実施した事業の概要								
実 施 主 体								
実施日(期間)								
実 施 場 所								
事 業 概 要								
地域づくりの 成果・効果								
決 算 額		E+G	財 源 内 訳					
			E		G			
充当後の積立事業取扱方針								
積立継続(年度まで)・ 廃止								
廃止する場合は、積立金残高(F)の処理方法								

E：充当した積立金の額

G：その他の財源の額

※ 事業が2以上ある場合は、枠を増やして記載すること。

(3) 本年度の交付金のうち、翌年度に繰り越す金額の報告

I-A-D	金	円
-------	---	---

[参考]繰越上限額=I×2/10

3 添付書類

- (1) 事業実施が確認できる資料(チラシ・パンフレット、写真、新聞記事等)
- (2) 積立をおこなった場合は、松本市地域づくり推進交付金積立承認通知書の写し